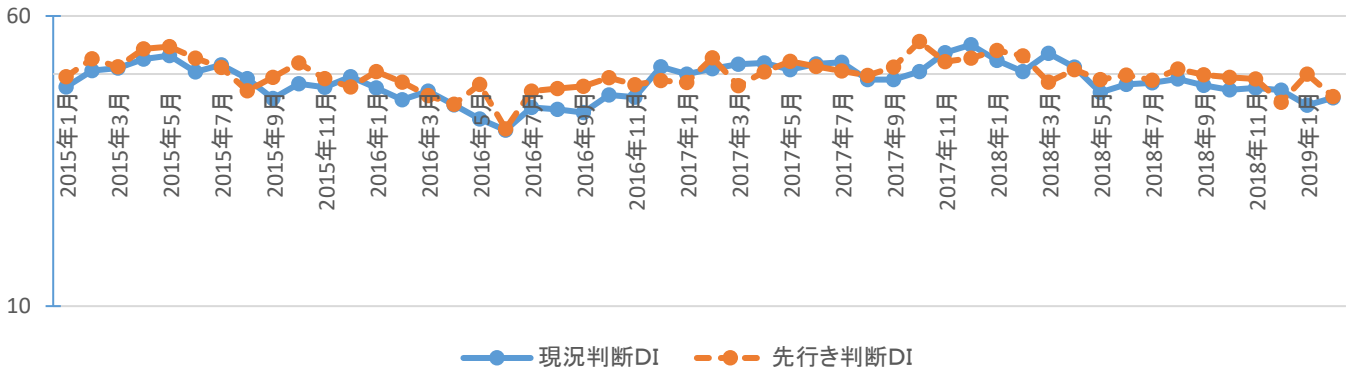


東海地域 現状・先行きDIの推移



◆東海地方 2019年2月 景気判断理由 一部抜粋

	分野	判断	判断の理由、追加説明及び具体的状況の説明、回答者属性
現状	家計動向関連	やや良	《単価の動き》ゴールデンウィークでの旅行の、海外や遠方の予約申込みは落ち着いたが、国内旅行など近場の問合せはしばらく続きそうである。【旅行代理店（営業担当）】
		不変	《単価の動き》来客数は前年割れをしている状態が続いているが、客単価が前年を上回る傾向にあるため、売上では前年同期を超える店舗が比較的多い状況である。【コンビニ（企画担当）】
		やや悪	《来客数の動き》60年以上、予約客を中心に仕事しているが、高齢化によってデイサービスに行ったりするので、来客数が減少している。【美容室（経営者）】
	企業動向関連	やや良	《取引先の様子》外注先はどこも忙しく、急ぎの注文への対応が難しい。原料価格が高騰し続けているので、ほとんどの製品が値上げになっている。【窯業・土石製品製造業（社員）】
		不変	《取引先の様子》個人確定申告の時期であるが、前年より所得の下がっている方が多い。特に高齢の個人事業者で下落率が大きい。【会計事務所（職員）】
		やや悪	《受注量や販売量の動き》工作機械関係の受注の落ち込みが特に大きく、12～2月は3割程度減少している。【電気機械器具製造業（経営者）】
	雇用関連	やや良	《雇用形態の様子》外国人雇用が増加傾向で、製造業を中心にじわじわと上向きになっている。【人材派遣業（営業担当）】
		不変	《求人数の動き》企業の生産活動、売上等は好調との声を聞く一方で、有効求人倍率は高水準で推移しており、企業の人手不足感が深刻化している。【職業安定所（次長）】
		やや悪	《求人数の動き》忘年会等の繁忙期に比べて悪くなっている。【人材派遣会社（社員）】
先行き	分野	判断	先行きに対する判断理由、回答者属性
	家計動向関連	やや良	季節も良くなり人が動く時期になるので、多少の消費拡大に期待する。消費税引上げの声も少しずつ聞こえてくることで、駆け込みも少々期待したいところである。【スーパー（支店長）】
		不変	改元により祝賀ムードは明らかに高まるため、若干上向きな心理状態にはなるが、消費税の引上げが足かせになると思われる。【その他飲食〔仕出し〕（経営者）】
		やや悪	飲食業では中央市場や業務用スーパー等の来客数が減少している。飲食に金を使わない状況に不安を感じる。これから良くなる要素は考えられない。【一般レストラン（経営者）】
	企業動向関連	やや良	暖かくなってきてからも天候には大きく左右されるが、冬場よりは受注量、販売量共に伸びる時期となる。【食品製造業（営業担当）】
		不変	消費税引上げ前の対策と思われるような生産や荷動きの動向がうかがえる。今後、この動向が月を追って少しずつみられるような感じである。原油価格がじわじわと値上がり転じてきているのが懸念される。【輸送業（役員）】
		やや悪	引き合いも減少しており、価格競争になりそうである。【金属製品製造業（経営者）】
	雇用関連	やや良	例年、年度末から年度初めに向けて求職者の動きが多くなっていく。それに伴って、離職者のポジションに派遣人材の活用や中途社員を採用する動きも大きくなると思う。【人材派遣会社（営業担当）】
		不変	人手不足により労働力が確保できないため、中小零細企業においては、受注制限や生産調整等を余儀なくされることが懸念される。【職業安定所（次長）】
やや悪		正社員の求人数が、徐々にではあるが少なくなっている。【人材派遣会社（営業担当）】	